

1 教育目標

～「いい顔 いい声 いい心」の学校～
自ら考え協働する、心豊かで粘り強い子どもの育成

2 学校経営方針

「あいさつ」「相手を思いやる言動(さん付け)」「学習規律の定着」

3 重点目標

□ 目指す学校像

- 支持的風土のある、安心安全で美しい学校
- 地域を愛し、地域から愛される、地域と共に子どもを育てる学校

□ 目指す子ども像

こころやさしくたすけあう子
さがしもとめて 学ぶ子
からだをきたえ 明るい子
きまりをまもり やりぬく子

□ 目指す教職員像

- 子どもと共に動き、信頼される教職員
- 子どもの心に寄り添って行動する教職員
- 保護者・地域に積極的にか

<つながる力>チーム小櫛

- 読解力育成
- コミュニケーション能力(交流活動・特別活動・自立活動)
- 言葉・歌を大切にする学校文化(挨拶・返事・言葉遣い・全校合唱)
- 自己有用感に裏打ちされた自己肯定感
- 自己有用感に裏打ちされた



<考える力>工夫と実践

みんなが
「今日も楽しかった。
明日も楽しみ。」
と思える学校

- 問題解決的な学習過程(こさき...心にえかく探し・究める 考え判断する 極めて活用)
- 読書活動の充実(量・質)
- 言語活動の充実(相手意識・必然性・適時性)

働き方改革

健康安全体力づくり・学校DXの推進

選択と集中

カリキュラムマネジメント(道徳・生活・特活(行事)・各教科)
特別支援教育・人権教育・積極的生徒指導
学校支援組織との連携(育友会・自治会・民生委員・交通指導員他)

4 自己評価

領域	項 目	質 問 内 容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児 童 生 徒	保護者	教職員	
学校経営	教 育 目 標	教育目標を達成している	89	91	100	学校教育目標や明るく楽しい学校の実現について、おおむね達成できた。働き方改革も進んでいる。今後も学校教育目標の実現へ向け努力していく。
	学 校 の 雰 囲 気	明るく楽しい雰囲気である	92	97	100	
	組 織 運 営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			100	
	業 務 の 改 善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			91	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	86	93	50	ルールやマナーについては、履物の整頓や掃除の態度について課題がある。挨拶については、できるようになってきている。引き続き指導をしていく。いじめについては、早期発見と防止へ向けて、毎月の生活アンケートや日頃の見守りに加え、児童理解の場で必ず確認を取るようにし、継続的に取り組む。「あはは運動」について、学校だより等を通して保護者へ周知を図る。児童へも生活目標と関連付けて周知を図り、各家庭と協力して実践的な態度育成をしていく。
		挨拶をよくしている	92	81	74	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	83	76	100	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	95	92	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	95	89	100	
	人 権 教 育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	97	94	90	
	平 和 教 育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	91	84	85	
	特 別 支 援 教 育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	97	94	100	
確かな学力	特 色 あ る 学 校 づ く り	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	95	96	100	地域の行事等で高学年児童が小柵ソーランを披露することで、元気な児童の姿を地域に届けることができた。学習については、今後もICTを活用し、わかりやすい授業・児童の資質能力を伸ばすと共に、書く活動にも留意した授業に取り組んでいく。
	学 習 指 導 ・ 教 育 課 程	わかりやすい授業を行っている	97	93	98	
		家庭学習の習慣が身に付いている	89	81	85	
	キ ャ リ ア 教 育	将来の自立に向けて適切に指導している	95	89	100	
		長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	95			
健やかな体	保 健 ・ 衛 生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	98	94	95	体力向上へ向けて全校で、体力テストの結果から握力や走力の改善に取り組んできた。食育について、栄養教諭を中心にICTを活用した指導や残食を減らす取組ができた。今後も継続し取り組んでいく。
	体 力 向 上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	80	90	90	
		体力向上に努めている	83	81	100	
	食 育	食に関する教育活動を行っている	95	96	100	
信頼される学校	安 全 管 理	児童生徒の安全に気を配っている	99	97	100	不審者やイノシシ情報、感染症情報、教育活動情報等、テトルを活用して発信に努めた。保護者からも高い評価を得ることができた。今後も保護者、地域と情報を共有し教育活動を進めていく。
	情 報 提 供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	96	96	100	
	P T A ・ 地 域 と の 連 携	学校はPTAや地域との連携がとれている	96	99	100	
	職 員 資 質 向 上	研修が充実し、資質が向上している			98	
教育環境	環 境 整 備	教育環境が充実し、整備されている	97	95	98	今後も安全な教育環境、学びやすい教材教具の準備等に心掛ける。
	職 場 環 境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			93	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

【成果】

保護者から多くの面でおおむねよい評価をいただいた。テトルやホームページ、各種たよりで日頃の教育活動についてこまめに情報発信をし、学校の取組をアピールできたと思う。また、職員の連携や協力の良さ、保護者への丁寧な対応も高評価につながっていると考えている。今後も努力していきたい。

管理職や特別支援教育コーディネーターを中心に教育相談、SCの活用を推進してきた。保護者の悩みや児童の困り感の解消を図り、それぞれの児童の実態に応じた指導や声掛けができた。得られた情報は、担任や管理職、関係者で共有し、継続的に支援ができるよう体制を整えている。

安全管理については、日頃の交通安全指導や育友会、交通安全指導員、地域の方等の協力を得て大きな事故もなく過ごすことができたのは大きな成果である。交通指導に立られている方へのけがや病気の際は、育友会へ協力を仰ぎ安全確保に努めることができた。継続的に交通安全の見守りをされてきた方々が高齢化し、交代場面も見られた。こうした課題に次年度以降も地域の方々と育友会に協力を頂きながら交通安全活動を推進していく。

情報提供については、テトルを活用したこまめな発信を心がけた。育友会研修案内、生活上の注意喚起、感染症情報、校長室及び学校だより、学級だより等発信できた。食育については、栄養教諭が食育ルームを通して、季節や行事に合わせた献立説明を配信し、各学級の電子黒板に提示し指導できた。ICTを様々な場面で活用し効果を上げることができた。

【課題・対策】

生活指導については、トイレのスリッパ並べや掃除の態度（黙って掃除）挨拶などについて課題が見られ、全校で改善に向けた取組をしている。保護者や地域と協力して児童への指導を行っていききたい。いじめ防止や人権教育について、情報モラル教育の充実を図りながら、課題解決に取り組む。学校外での問題行動（ライントラブル、公園でのごみ問題、交通ルール、遊び方等）について、地域や保護者から相談や指摘を受ける場面があり、丁寧に対応した。いじめについては、早期発見、チームでの対応等、いじめ防止のマニュアルに沿った取組を全職員で共通実践することで、大きな問題となる前に解決できている。人権教育については、道徳科の授業等を保護者や地域の方々に公開するなどして、理解を図っていく。また、学校や学級便り、ホームページ、テトルなどによる学校からの積極的な情報発信を今後も継続し、情報を素早く共有することで、保護者・地域の方々の理解・協力を得られるよう取り組んでいく。

6 学校関係者評価

- ・食育について、育ち盛りの子供には大変重要だと思うので、本来家庭で完結すべきところですが、「残さず、よく噛む、食べ方（三角食べ）」をできる範囲で声掛けしていただきたい。食育は、命をいただくという側面もあるしっかりと指導していただきたい。低学年は、給食時間が足りないのではないかな。
- ・子供たちのあいさつはよくできていると感じる。保護者の方はもう少しだと思う。
- ・生徒指導について、自分の気持ちをため込んでしまう児童も少なからずいると思う。当該保護者と学校は、連絡を密にとり支援や対応をしていただきたい。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

学校での指導は、家庭や地域の協力があってこそ教育効果が高まると考える。特に食育やあいさつについては、学校が「きっかけ」を作り、家庭が「習慣化」するという連携をさらに深められるよう、取り組みを充実していきたい。生徒指導について、家庭とのより一層の連携ができるよう、小さな出来事や変化を見逃すことなく情報交換を密にしていく。また、必要に応じてスクールカウンセラーや関係機関と連携し、対応に当たりたい。